



# 大学院 Newsletter

2022.10

## 11月開催の催しと秋学期授業の紹介

### 社会人向けオープンキャンパスのご案内

今回、初めて社会人の方向けの内容で開催します。参加方法は「来場」と「オンライン」から選択可能。教員セミナーでは、ノヴァコフスキ カロル ピオトル講師より「危機言語の記録保存のための情報処理技術:アイヌ語に着目して」と題し、講演を行います。他にも院生話題提供の実施、希望者には個別面談も受付する予定です。

【日時】11月12日(土) 14時00分~16時00分

【参加費】無料 【定員】来場10名、オンライン10名

【参加方法】来場、オンライン(Zoom) 【申込締切】11月11日(金)

・詳細につきましては、ホームページ、チラシをご覧ください。



6月のオープンキャンパスの様子

### 秋学期大学院の授業ピックアップ

大学院では、専門性が高い知識や研究などを学ぶことができます。今回、秋学期授業の様子を紹介します。

#### ソーシャルキャピタル論 担当教員:宮城大学 事業構想学群 小地沢 将之准教授

この授業では、地域課題解決における住民の力を評価する指標であるソーシャルキャピタルの社会的効用や発揮の方法を考えます。第3回目の授業では、身の回りのソーシャルキャピタルの事例を話し合いました。「カーン・エル・カリリ市場」(集合の中に恩義の関係が生じている例)では、商店街などが挙げられました。店同士の関係性や利点を整理することで、社会や地域の人々との相互関係と結びつきについて考えました。



#### スクール(学校)ソーシャルワーク論 担当教員:白梅学園大学・子ども学部 牧野 晶哲准教授



「RJサークル」の様子

ここでは、スクールソーシャルワークの専門的視点や援助理論について学びます。第1回目は、当事者同士が対話し、今後の関係改善に取り組む「修復的対話」がテーマでした。その手法の一つである「RJサークル」を受講生が体験し、相互理解の促進などの効果について理解を深めました。その後の授業では、学校教育現場でこの手法を取り入れることで、子ども達の自己肯定感、多様性の尊重が身に付けられることを学修。子どもと教職員との信頼関係の構築が期待でき、安心安全の学校づくりに繋がることなどを学びました。

#### 公開講座「プロジェクトa」 担当教員:武田 真理子教授、広瀬 雄二教授

本年度から開講された「プロジェクトa(パートナーシップに基づく地域課題解決の推進)」では、鶴岡市朝日地区をフィールドに学びを展開しています。この日はフィールドワークを経て、地域課題解決のためにどんな形での住民同士の対話の場を創出できるか、またそのプロセスとマネジメント・デザインについて、受講生全員で議論しました。



大学院 Newsletter は毎月発行しています! 詳しくは下記 QR コードからホームページをご覧ください。

